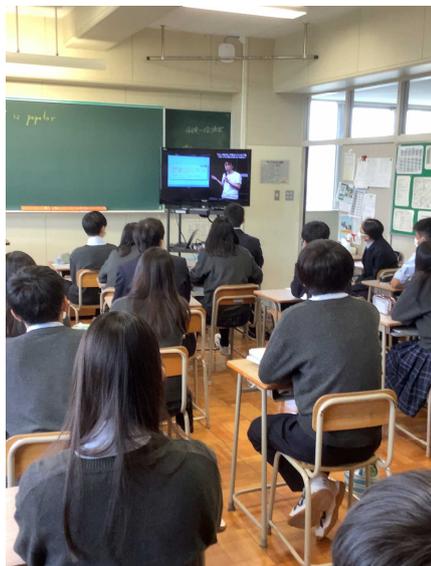


PTA連合会大会 島根大会の動画配信を活用した情報モラル教育の取組

北海道富良野高等学校

本校では、「社会と情報」の授業の中で2年生全員が、第2分科会の動画配信『『正しく怖がる』で創るネットとのご縁～SNS・スマホで絶対に失敗しない方法とは～』を視聴し、情報モラルやネット利用における必要な知識、対処法などについて学習しました。



【動画視聴の様子】



【視聴後の振り返りの様子】

<生徒の主な感想>

- 今までSNSには、名前や住所などの具体的な個人情報さえ書き込まなければ、個人を特定されることはないと思っていましたが、100万人を超える人が使っていると、些細な情報から個人が特定される可能性があることが具体的によく分かり怖くなりました。自宅から駅や学校までの時間など書き込むだけで、自宅を特定され犯罪に巻き込まれた例もあることを知り、改めて安易な書き込みはするべきではないと思いました。
- 友だち限定で公開してもスクリーンショットなどで拡散することがあるという話を聞き、改めて、友だち限定でも書き込むべきではないことは書き込まないことが大切だと思いました。SNSは使い方を間違わなければ便利なツールなので正しい使い方を心がけていきたいです。
- SNSに書き込んで大丈夫かどうかの判断は、自分の自宅玄関の扉の外側にその内容を紙に書いて張り出すことができるかどうかであるという説明が大変分かりやすかったです。今後の参考としたいです。
- SNSを通じて、自分から5人の人を経由するとSNSを利用しているほとんどの人とつながることを知り大変、驚きました。
- 一度ネット上で炎上すると2、3ヶ月で収まったように感じるが、就職や結婚などの人生の大切なときに掘り起こされてしまうことがあるので、日常やってはいけないことはネット上でもやらないことが大切だと改めて思いました。
- 具体的な例が豊富で、話の構成が非常に分かりやすかったです。

